

平成19年12月の結果 (二人以上の世帯)

二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 351,667 円

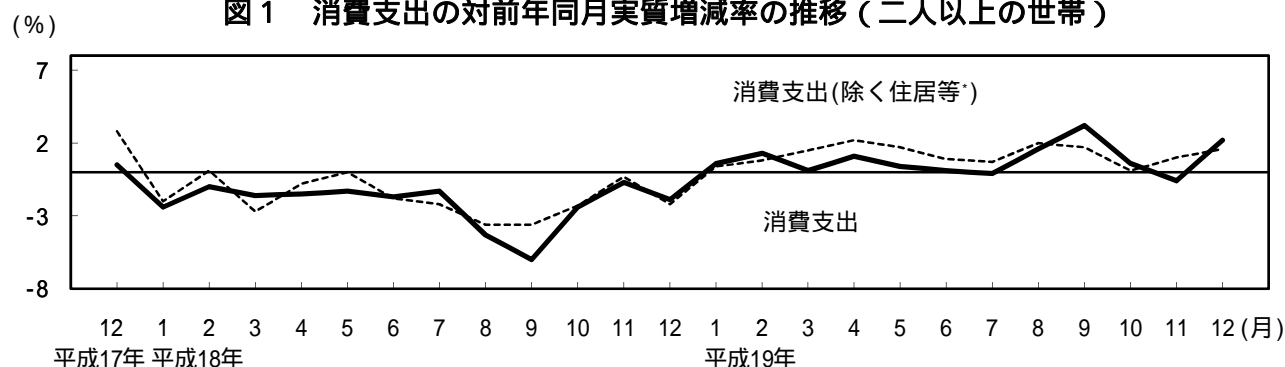
前年同月比 名目 3.1%の増加 実質 2.2%の増加

前月比(季節調整値) 実質 2.3%の増加

うち勤労者世帯の実収入は、 前年同月比 実質 2.7%の減少

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

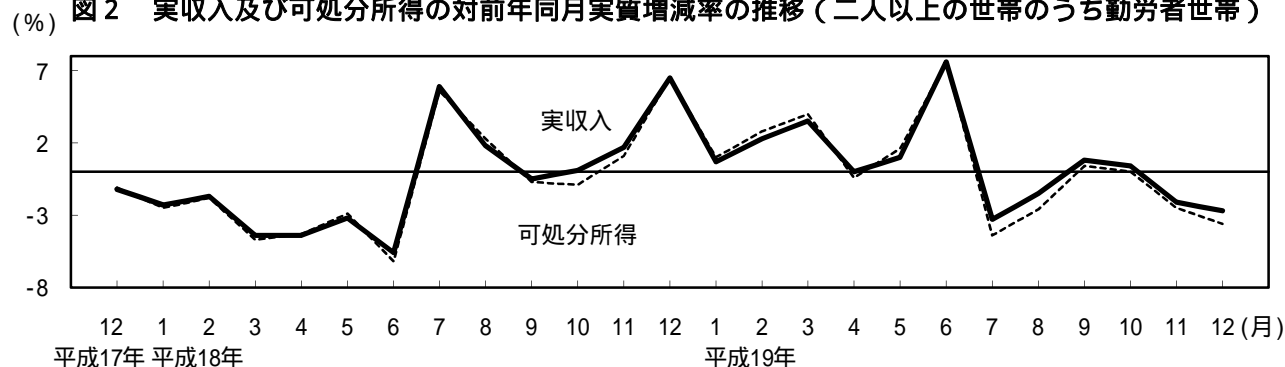


	平成18年	平成19年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	-1.9	0.6	1.3	0.1	1.1	0.4	0.1	-0.1	1.6	3.2	0.6	-0.6	2.2
消費支出(除く住居等)	-2.2	0.4	0.8	1.5	2.2	1.7	0.9	0.7	2.0	1.7	0.1	1.0	1.6

*:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成18年	平成19年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実収入	6.5	0.7	2.3	3.5	0.0	1.0	7.6	-3.3	-1.5	0.8	0.4	-2.1	-2.7
可処分所得	6.5	1.0	2.8	4.0	-0.4	1.6	7.6	-4.4	-2.6	0.4	0.0	-2.5	-3.6
消費支出	-3.3	1.0	-2.7	-0.3	0.4	0.9	-0.4	0.5	3.6	5.5	2.2	-1.5	1.8
平均消費性向	-4.5	0.0	-4.1	-3.9	0.7	-0.7	-4.0	3.1	5.0	4.1	1.8	0.8	2.5

*:対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成19年12月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	351,667	3.1	2.2	2.2		2 か月ぶりの実質増加
食 料	84,130	0.5	-0.4	-0.10	<減 少> 魚介類,調理食品など	3 か月連続の実質減少
住 居	24,341	4.5	4.5	0.31	<増 加> 設備修繕・維持	2 か月ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	24,151	1.7	-1.8	-0.12	<減 少> 他の光熱,上下水道料	2 か月連続の実質減少
家具・家事用品	13,892	2.2	4.0	0.16	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2 か月ぶりの実質増加
被服及び履物	14,816	-5.2	-5.8	-0.26	<減 少> 洋服,和服など	4 か月連続の実質減少
保健医療	14,388	-4.0	-3.6	-0.16	<減 少> 保健医療用品・器具,医薬品	3 か月ぶりの実質減少
交通・通信	41,443	5.4	2.7	0.32	<増 加> 通信,自動車等関係費	3 か月ぶりの実質増加
教 育	9,756	-0.5	-1.2	-0.03	<減 少> 補習教育,教科書・学習参考教材	3 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	37,717	7.3	8.2	0.84	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービス	2 か月連続の実質増加
その他の消費支出	87,032	6.5	(5.6)	(1.33)	<増 加> こづかい,諸雑費など	8 か月連続の増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

教養娯楽用耐久財	[0.62]	テレビ, パーソナルコンピュータ
設備修繕・維持	[0.46]	給排水関係工事費, 外壁・塀等工事費
教養娯楽サービス	[0.43]	外国パック旅行費, インターネット接続料
諸雑費	[0.43]	信仰・祭祀費, 非貯蓄型保険料
家庭用耐久財	[0.24]	エアコンディショナ
通信	[0.22]	移動電話通信料, 移動電話*
自動車等関係費	[0.19]	自動車購入
外食	[0.13]	和食, 飲酒代

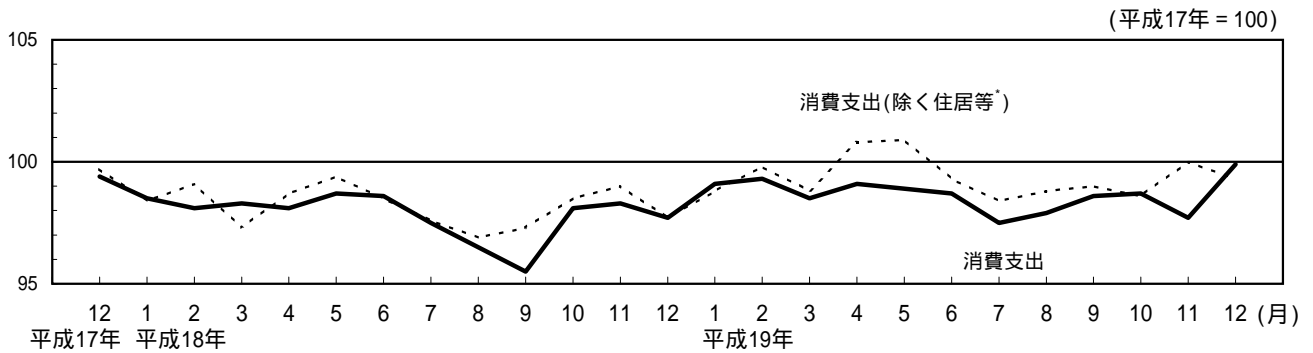
< 減少項目 >

他の光熱	[-0.23]	灯油
保健医療用品・器具	[-0.11]	眼鏡
魚介類	[-0.09]	えび, かに, たらこ
洋服	[-0.08]	婦人用コート, 子供服

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「移動電話」は、電話機本体のほか、部品も含む。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	平成18年	平成19年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	97.7	99.1	99.3	98.5	99.1	98.9	98.7	97.5	97.9	98.6	98.7	97.7	99.9
対前月変化率(%)	-0.6	1.4	0.2	-0.8	0.6	-0.2	-0.2	-1.2	0.4	0.7	0.1	-1.0	2.3
消費支出(除く住居等 [*])	97.7	98.8	99.8	98.8	100.8	100.9	99.3	98.4	98.8	99.0	98.6	100.0	99.3
対前月変化率(%)	-1.3	1.1	1.0	-1.0	2.0	0.1	-1.6	-0.9	0.4	0.2	-0.4	1.4	-0.7

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ～ 3)を用いた。

2 * : 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成19年12月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	950,654	-1.8	-2.7	-2.7	2か月連続の実質減少
世 帯 主 収 入	798,724	-1.1	-2.0	-1.65	3か月連続の実質減少
定 期 収 入	362,992	-2.2	-3.1	-1.18	3か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	435,732	-0.2	-1.1	-0.47	
配 偶 者 の 収 入	87,537	-3.8	-4.7	-0.44	2か月ぶりの実質減少
う ち 女 性	87,059	-2.5	-3.4	-0.31	2か月ぶりの実質減少
他の世帯員収入	13,656	15.7	14.7	0.18	6か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	143,402	3.2	-	-	7か月連続の増加
可 処 分 所 得	807,253	-2.7	-3.6	-	2か月連続の実質減少
消 費 支 出	379,388	2.7	1.8	-	2か月ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	47.0	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、73.8%で、前月に比べ、0.1ポイントの上昇となった。
		44.5	2.5		